

- ・ 第8期中頓別町総合計画を策定しました
〈3年間の策定経過について〉

2022 5 May

第76回 中頓別町立 中頓別中学校 入学式



○中頓別中学校入学式の様子

中頓別中学校入学式の詳細は、P8「まちの話題」をご覧ください。



第8期中頓別町総合計画を策定しました 〈3年間の策定経過について〉



写真：3月29日開催「暮らしのアイデア放送部ふりかえり会」の様子

中頓別町では、令和元年度から令和3年度末までに町民の皆さんに様々なワークショップなどの参加を通じ、政策目標や重点プロジェクトを検討してきました。また、アイデアとして、7つのアクションも生まれました。今月号と来月号では、総合計画の概要と今までの取り組みについて紹介していきます。

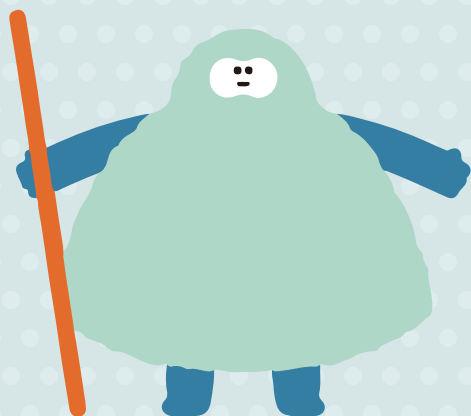
第8期中頓別町総合計画の策定

令和4年4月から、第8期中頓別町総合計画が新たに策定され、中頓別町の10年間のまちづくりの方針が決まり、目標実現に取り組みます。デジタル・トランスフォーメーションの第1歩として、今回の計画本編は、ウェブサイトを構築し、スマートフォンなどで詳細を閲覧できる仕組みを導入し、小学高学年からでも馴染みやすく、手軽に計画を見られるデザインとなっています。キャッチフレーズは、「小さな中頓別(まち)のしあわせをデザインする」です。

第8期中頓別町総合計画の概要

まちづくりの基本的な考え方として、これまで中頓別町が守り育てて来た、豊かな自然といった、環境基本計画に関連する取り組みと町民との協働を進める自治体経営を土台に「教育」、「しごと」、「福祉」の3つの分野を柱として、まちづくりを進めていきます。SDGsについても、掲げられている17の目標を第8期中頓別町総合計画のなかで、政策・施策と関連した取り組みを進めていきます。行政主導の重点プロジェクトとしては、「①SDGs」、「②新しい学校づくり」、「③くらしごと」、「④地域共生社会」、「⑤新たな交通体系構築とシェアリングエコノミー」、「⑥ゼロカーボン」、「⑦情報化」、「⑧地方創生の推進」、「⑨防災拠点の機能を有する多機能型コミュニティ施設」の9つのプロジェクトが位置付けられており、10年後の未来に向けて、町民の参加と協働により、豊かさや楽しさを生み出す「縮充(しゅくじゅう)」を進めます。

中頓別町で生まれた 主人公「かます」



方言で「かき混ぜる」を意味するその名前は、「牛乳をかき混ぜてうまみが凝縮したチーズを作るように今ある資源を凝縮させて豊かな人生を」という意味が込められています。

愛	称	かます
出	身	中頓別町
好きな食べ物		チーズ
性	格	おっとりしているが素直で優しい
特	徴	未来を考える時、棒でかき混ぜるしぐさをする癖がある。

まち 小さな中頓別のしあわせをデザインする

町民一人ひとりの参加と協働により、あたたかな、安心して、充実した暮らしのある、豊かさと楽しさを生み出すまちになることを目指し、計画のキャッチフレーズとしました。



第 8 期中頓別町総合計画 WEB サイト 人生の選択

<https://nakatom-sogokeikaku.jp/>

町民の皆さんとアイデアを考える 令和元年度の取り組み

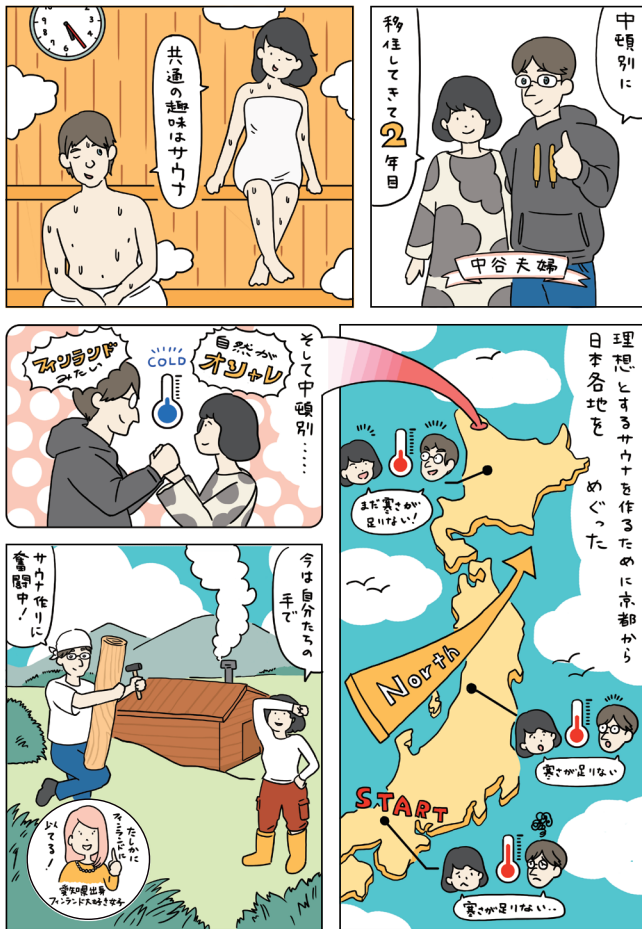
令和元年度は、町民ヒアリングや役場職員による町民インタビュー、これをまとめた「おしゃべり上映会」、キャラバン隊による暮らしのアイデアのヒアリング、町民ワークショップの実施など、様々な取り組みを実施し、本計画のまとめにつなげてきました。令和元年度に実施した町民ヒアリングでは、町内で活動している団体や個人を対象に77人の方にお話しをうかがいました。この結果、「資源・魅力だと感じていること」と「課題だと感じていること・こうなったらいいと思うこと」の2つに大別し、総合計画へと反映できるように整理を行ってきています。また、インタビューで得られた、中頓別町の魅力を「教育」、「環境・仕事・住まい（移住）」、「健康」、「子育て」、「働き方」の5つのテーマに沿ってマンガとして、お知らせをしてきました。（次のページ参照。）

その後、町民インタビューに

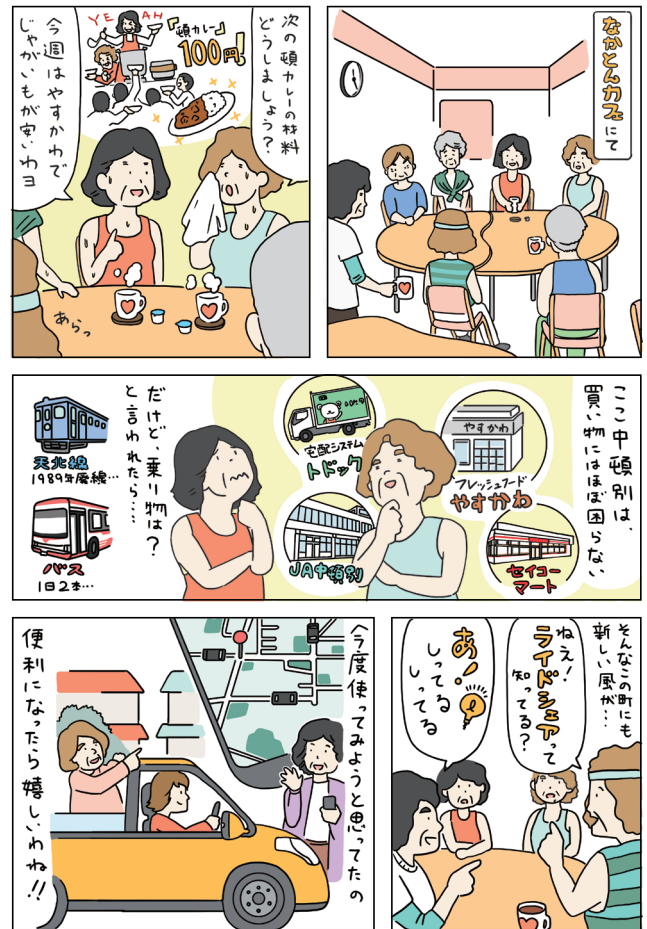
□ 用語説明

- ・ **デジタル・トランスフォーメーション**とは、例えば、インターネットで映画のチケットが購入できるなど、IT技術の進化により、生活形態をより良いものへと変革させるという概念のことです。
- ・ **SDGs（エスディージーズ）**とは、日本語では、「持続可能な開発目標」と訳されます。2015年の国連サミットにおいて、全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のなかで掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールなどから構成されており、すべての国が取り組むべき普遍的な目標が掲げられています。
- ・ **縮充**とは、人口減少が進むこれからの時代の人々の参加と協働による、あたたかで充実した暮らしのあるまちに向けてつくられた言葉です。

環境・仕事・住まい(移住)編



ライドシェア編



向けて、役場職員が5回の研修を行い、インタビュアの練習や町民ヒアリングで見えてきた「中頓別町の魅力」を共有するなど行っています。インタビュ後は、「おしゃべり上映会」を開催し、豊かな環境を守ることに共感してくれる人を増やしたいや若い人が働ける場所がたくさんある町になってほしい、宿泊施設や飲食店など町の人と連携したい、老後の交通事情が心配、病院が遠い、地域コミュニティが世代横断的に交流できると良い、図書スペースにカフェや子どもが遊べる場所があると良いなどの課題がわかりました。

令和2年度の取り組み

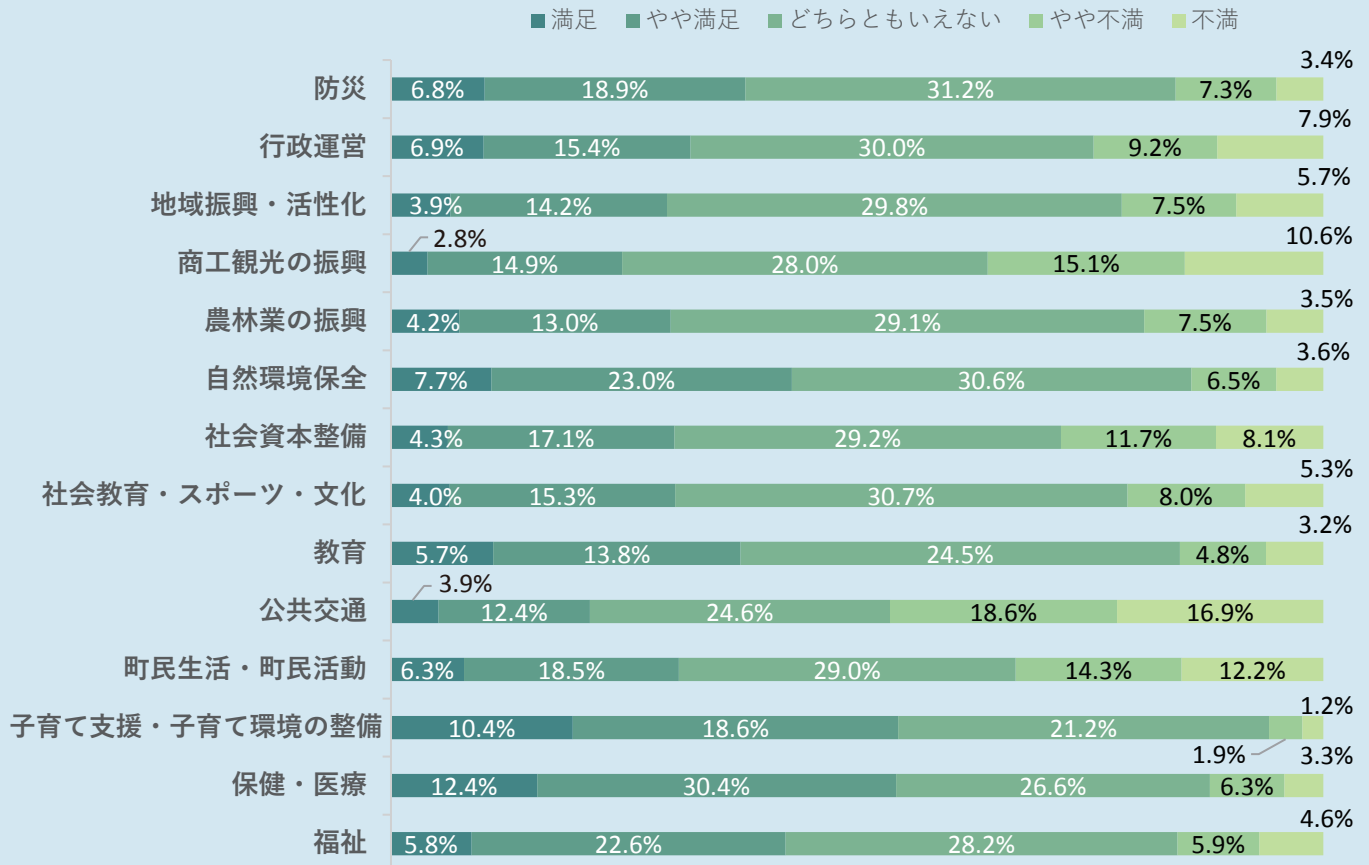
令和2年度では、町民ヒアリングで見えてきた「理想の暮らし」

を見てもらうなどのため、町内9箇所で開催した移動ヒアリング(なかつりやべりキャラバン隊)を実施しました。また、町民ヒアリングや職員研修を経て見えてきた、これからの生き方を実現するためのアイデアとして、暮らし

のアイデア放送部からは、「町営塾づくり」、「オンライン診療デビュー」、「育児と仕事の両立(パパカあつぷ)」、「エプロンツーリズム」、「なかシユラン」、「サバイバルの達人」、「いつでもできるのラボラリー(いつラボ)」の7つのアクションが誕生しています。令和3年3月には、これまでの活動に、仲間を募集するためにFacebookより、オンライン配信も行いました。役場町民ホールや保健センターホールなど4会場で、現地の参加者は53人、同時視聴者は、60ビューあり、仲間として参加したいという応募者は、17人集めることができました。また、「町民アンケート」、「子どもまちづくりアンケート」、「町民幸福度アンケート」の3種類の調査も実施しています。

町民アンケートでは、保健・医療の取り組みや子育て支援・子育て環境の整備、自然環境保全に関する取り組みの満足度が高く、一方で、公共交通に関する取り組みの満足度が低いことがわかりました。特に、将来、

まちづくりの取り組みに対する満足度



移動手段の確保に不安を感じている方が多く、およそ60%の方が不安であると回答しています。子どものまちづくりアンケートでは、小学生では、およそ79%、中学生では、およそ68%の子とも達が、中頓別町のことが好きであると答えており、「大人になっても中頓別町に住みたいか」という設問では、小学生では、およそ67%、中学生では、およそ29%が住み続けたいと考えていることもわかりました。中頓別町の好きな点では、自然が豊かである点や住んでいる人が優しく、みんなで助け合っている点、挨拶を大切にしている点などが挙げられました。好きな場所では、学校や鍾乳洞、メモリアルパーク、プール、寿スキー場の回答が多くみられました。

町民幸福度アンケートでは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を1点として、集計した結果、平均点は、6・84点であり、重視する要因としては、健康状況や家族関係、家計の状況が、高い傾向にありました。

令和3年度の取り組み

令和3年度では、いよいよ策定の段階となり、町民アイデアである、「町営塾づくり」、「オンライン診療デビュー」、「育児と仕事の両立(パパ力あつぷ)」、「エプロンツーリズム」、「なかシュラン」、「サバイバルの達人」、「いつでもできるのラボトラー(いつラボ)」の7つのアクションの実現に向けた検討や課題把握に取り組みしました。町営塾づくりでは、つくりたい塾の構想を練っていたり、パパ力あつぷでは、アンケートを実施し、新しい働き方の仕組みづくりを目指しています。令和4年3月には、暮らしのアイデア放送部ふりかえり会として、各アクショングループ毎に活動報告と一緒に実施したいことなどが話し合われました。

この3年間の経過を次のページに掲載しますので、ご覧ください。また、次号では、総合計画の内容を紹介しますので、あわせてご覧になってみると中頓別町の10年後の未来を想像することができかもしれません。

計画策定のプロセス

2019年度からまちのみなさんに、たくさんの意見をうかがい
10年間の計画を考えました。

▼まちの声

教育 しごと 福祉 つながり

放課後子どもプランで
学習をサポートして
くれて助かる

まちなかにある食堂
と銭湯が集いの場と
なっている



3月
町民へのインタビュー映像を発表する
「おしゃべり上映会」開催

山菜などのお土産づ
くりやワインチーズ
を楽しむツーリズム

リサーチ
&
職員研修

2019
年度

8~10月
町民へのヒアリング



1~2月
役場職員による町民インタビュー



すでに地域に多様な働き
方をしている人がいるが、
実態を知らない人が多い

アイデアから
活動づくり

2020
年度

3月
7つのアクションの
協力者を募集するため
「アイデア上映会」を配信



9~3月
町民ワークショップから
7つのアクションが誕生

8月
キャラバン隊による人生の分岐点と
暮らしのアイデアをヒアリング



IT環境を整備し、大人
も子どもも学び会える
環境をつくりたい





永年の功績を称えて 令和4年度中頓別町自治記念式の開催



4月1日に中頓別町役場で自治記念式が開催されました。自治記念式には、町内外から25人が参加し、自治功労賞として、峰友武さん、水澤清二さん、佐藤美昭さん、関川功さんの4名が表彰されました。峰友さんは、平成12年4月から中頓別町地域生活安全協会会長として、生活安全活動の推進や防犯思想の普及に尽力され



ました。水澤さんは、平成27年6月から中頓別町総合開発委員会会長として、総合計画の策定や推進に尽力されました。佐藤さんは、平成17年12月からこども安全パトロール隊員として、尽力されました。関川さんは、平成27年4月からこども安全パトロール隊員として、尽力されました。



4月4日、認定こども園で入園式が行われました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入園するお子さんと保護者がマスクを着けたなかで行われました。大島園長からお祝いの言葉や絵本の朗読がされました。新入園児たちは、お母さんに抱かれながら、泣いたりすることなく入園式を終えました。

これからたくさん遊ぼうね 認定こども園入園式



4月5日、新入学児童に交通安全の呼びかけを行うため、小林町長、地域生活安全協会の村山会長、枝幸警察署中頓別駐在所の布村所長が児童宅を訪問。スクールハットやランドセルカバーなどを手渡しました。村山会長からは、児童に登下校や遊びに行く際に道路などの場所では、十分に気を付けるよう声掛けが行われました。

気を付けて通学を 新入学児童宅を訪問



緊張したけど堂々入場 中学校入学式

4月7日、中頓別中学校で、入学式が行われました。

新入生6名は、真新しい学生服に身を包み、堂々とした様子で入場。式典では、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクを着けて実施。在校生から中学生となり部活や勉強が大変となるが、困った時は相談して欲しいなどと新入生へ言葉が贈られました。



ドキドキの小学1年生 小学校入学式

4月8日、中頓別小学校で、入学式が行われました。

入学した11名の児童は、緊張した面持ちでしたが、自分の名前を呼ばれると元気な声で返事をし、手を挙げて立つことができました。

在校生からは、歓迎の言葉が贈られ、新入生たちは楽しい小学校生活を思い浮かべ、笑顔で教室へ向かいました。



中頓別町ブドウ研究準備会 設立総会の開催

4月12日、中頓別町役場で、ブドウ研究準備会の設立総会が行われました。

12名の町民が参加し、まず、自己紹介から始め、醸造用ブドウ栽培の年間スケジュールの確認やワイン以外の副産物の利活用を検討を行っていくことなどが確認されました。代表には、後藤敏直さんが、副代表には、高橋直己さんが選出されました。



地域農業の振興に寄与 北海道産業貢献賞伝達式

4月15日、東宗谷農業協同組合本所で、北海道産業貢献賞の伝達式が行われました。

姉齒義宣さんは、農協理事や組合長などを務め、良質な飼料の安定供給体制の構築や生乳生産量の増加、乳質の向上に取り組んだほか、道内初の酪農ヘルパー体験ツアーを企画するなど生産性向上に尽力されたことから表彰されました。





中頓別町役場新規職員の紹介

(令和4年4月1日付)



保健福祉課
保健グループ

主任助産師 あおき まみ
青木 万美



保健福祉課
保健グループ

主任助産師 さいとう ちかさ
齋藤 知秀



教育委員会
教育グループ

主事 かとう しほみ
加藤 志保美



教育委員会
教育グループ

主事 すみや ゆうま
炭谷 祐真



産業課
産業グループ

主事 よしだ こうた
吉田 晃太



教育委員会
認定こども園

保育士 みやた いのり
宮田 祈



社会福祉法人南宗谷福祉会 障害者支援施設天北厚生園に 新しい仲間が！

4月から、旭川福祉専門学校から外国人介護福祉人材として、社会福祉法人南宗谷福祉会 障害者支援施設天北厚生園にリエンさんが就職しました。中頓別町に来てくれたリエンさんをご紹介します。

名前 グエン ティ ミー リエン
NGUYEN THI MY LIEN
出身 ベトナム
趣味 料理や自転車に乗ることが趣味です。中頓別町に来てから、毎日、お弁当を自分で作っています。野菜を使った料理が好きです。また、自転車で、浜頓別町まで行ってみましたが、寒かったです。



社会福祉法人南宗谷福祉会
障害者支援施設天北厚生園

支援員 グエン ティ ミー リエン
NGUYEN THI MY LIEN

Q ベトナムの人の人柄はどういう人柄ですか？

A みんな親切で、前向きな人が多いです。

Q 日本へ来ようと思った理由は何ですか？

A 子どもの頃にテレビで、日本の歴史や日本の方の嘘をつかない姿や自信があり、諦めず、真面目に取り組む姿を見たことがきっかけです。アニメも好きで、NARUTO やドラえもん、戦隊も好きです。

Q 中頓別町へ来ようと思った理由は何ですか？

A 旭川福祉専門学校に在籍していた際に、中頓別町の社会福祉法人南宗谷福祉会 障害者支援施設天北厚生園へ施設見学に来たことがきっかけです。

Q 今の仕事に就いた理由は何ですか？

A ベトナム戦争の影響で、高齢者より障がいのある方が多く、自分で自分のことを出来ない人の助けをしたいと思ったからです。

Q 今の仕事内容について教えてください。

A 食事の介助や施設の掃除、お風呂の準備などを行っています。



Q 今後の目標について教えてください。

A 仕事に早く慣れることや車の免許を取ることで、日本語をもっと勉強して、将来は、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を取りたいです。

Q 町民の皆さんに一言お願いします。

A 中頓別町に来た際に、知らない人でも挨拶してくれました。このことがすごく嬉しかったです。私を見かけたら、声をかけてくれると嬉しいです。



転入された方や結婚・出産・子育てを支援する『いきいきふるさと推進事業』をご存知ですか？

中頓別町では、住民の定住化と本当の豊かさを分かち合うあたたかいまちづくりを推進していくことを目的として「いきいきふるさと推進事業」を実施しています。住民の方々や転入された方々に対して、歓迎の気持ちを込めて必要な情報の提供や、結婚されたご夫婦や出産された方へのお祝い品の贈呈、乳幼児健診時には絵本のプレゼントや読み聞かせを行っています。

移住定住促進事業

転入支援

【対 象】 本町に転入された方

【内 容】 中頓別町生活情報誌、なかとん牛乳引換券の配布（900ml×4本分）

就職祝い金

【対 象】 卒業もしくは退学、又は転入してから1年以内に町内の事業所に就職していること
5年以上の就業見込みがあること・公務員ではないこと・従業先が転勤を伴う事業体でないこと（転勤の見込みがない方は対象）

【内 容】 中頓別町商工会商品券5万円分

【手続き】 事業所より申請書を提出していただきます。

就学支援事業

通学用バス定期運賃補助事業

【対 象】 浜頓別高等学校へ宗谷バスを利用して通学する生徒の保護者

【内 容】 バス定期運賃5割12か月（上限）

【手続き】 高校より申請書を提出していただきます。

高等学校等通学家庭補助事業

【対 象】 通学用バス定期運賃補助事業を受けていない生徒の保護者

【内 容】 中頓別町商工会商品券10万円分（町外通学の場合も対象）

【手続き】 在学を証明する書類（在学証明書や生徒手帳内の身分証明書）と申請書を提出していただき、後日交付されます。

※ どちらかの交付になります。

結婚支援事業

【対 象】 夫婦ともに、または夫婦のいずれかが本町に住民票があり、引き続き居住することが明らかな方

【内 容】 夫婦1組30万円

お問い合わせ 政策経営室（01634-8-7671）



子育て支援事業

出生祝い金

【対 象】 出生届が提出され、新たに町民となったお子さん

【内 容】 第1子、第2子：10万円(商品券5万円含む)、第3子以降：30万円(商品券5万円含む)
紙おむつ360枚、燃やせるごみ袋10枚入×6包

【手続き】 オムツの注文票が役場にあるので書いていただき注文します。

絵本プレゼント

【対 象】 本町に居住している1歳、1歳半、3歳に達するお子さん

【内 容】 絵本2冊ずつ

※ 乳幼児健診時にお渡しします。

中頓別町くらしごと窓口専用WEBサイトの開設について

令和元年度より実施している「過疎地域における働き方改革プロジェクト」では、移住者の受け入れ促進に向けた環境づくりに取り組んでいます。その一環として、住まいやしごとなど移住に関連する情報を一元的に取り扱う「中頓別町くらしごと窓口」を創設し、関連情報の収集や広報、SNSなどでの情報発信に取り組んでいます。

そのような取り組みの中、この度、令和4年4月25日に中頓別町くらしごと窓口専用WEBサイトが完成・公開されましたので、お知らせいたします。専用WEBサイトでは、中頓別町無料職業紹介所に登録されている求人情報や中頓別町特定地域づくり事業協同組合の取り組みなど「しごと」に関する情報、おためし暮らし制度の案内や移住者の経験談、町営住宅や民間賃貸住宅など「くらし」、「住まい」に関する情報など掲載しておりますので、ぜひ、専用WEBサイトをご利用ください。また、公式Instagramでは、中頓別町の日常を撮影し、情報発信しています。チェックおよびフォローをよろしくお願いします。

中頓別町くらしごと窓口専用 WEBサイト

<https://nakatombetsu-kurashigoto.jp/>



Instagram

https://instagram.com/nakatombetsu_official?igshid=YmMyMTA2M2Y

※ アカウント名「@nakatombetsu_official」

もしくは「中頓別町 公式 インスタ」で検索。



「令和3年度未来のための森の授業」の活動について

中頓別町では森林環境譲与税を使い、町内の森林づくりや、木材利用の促進を目的として「未来のための森の授業」を令和2年度から行っております。この事業は、町民の皆さんと一緒に将来の森づくりについて考えていくため、参加型のワークショップを開催しており、令和3年度は、その2年目となりました。

令和3年度は、町の木であるアカエゾマツを使って、「みんなのモニュメント」を完成させました。モニュメントは“木の存在を意識できること”、“未来に繋がること”そして、“町民が継続的に参加できること”を目的としています。このモニュメントは、これから中頓別町が、森と共に生きていくという宣言のシンボルであると同時に、子ども達の夢の預かり場所となっています。モニュメントには「ゆめのたね」という子ども達の夢を書きこんだパーツをはめ込む事ができるようになっており、二分の一成人である10歳前後で作ったゆめのたねを、20歳の成人の時までこのモニュメントの中で大切に育てていきます。

詳細については、令和3年度の活動内容をまとめた冊子を配布させていただいております。また、活動の様子を動画で見ることができるQRコードも掲載されておりますので、ご覧ください。

これまでの活動

■令和2年度の活動

全2回の町民参加型ワークショップを開催

○令和2年9月26日 税金ってなんだろう

令和2年度から各市町村に交付されている森林環境譲与税について理解を深めるため、ボードゲーム形式で税の事について学びました。

○令和2年11月28日 森ってなんだろう

日本の森の特性や歴史について学び、森林についての理解を深めました。

※ 令和2年度の活動報告冊子も昨年度作成し配布しております。もし、改めてご覧になりたい場合は少数ですがお問い合わせ先に在庫がありますので、ご連絡ください。

■令和3年度の活動



○8月17日から23日

森と共に生きていく宣言のモニュメントを作成

中頓別町で50年以上育ったアカエゾマツとトドマツを使って、マツボックリを模したモニュメントを作成いたしました。モニュメントの作成は東京からデザイナーを招き、8月の猛暑の中、昼夜を通した作業により完成しました。

※ モニュメント製作の様子



○ゆめのたねづくりワークショップ（8月21日 役場、10月16日 小学校）

みんなのモニュメントは、中頓別町民の皆さんの「ゆめのたね」が入って、初めて完成します。令和3年8月21日に中頓別町役場にて、全町民を対象にゆめのたねづくりのワークショップを開催しました。子どもから大人まで、総勢17名の方が参加され、それぞれが今の自分に合った色をベースパーツに塗った後、今抱いている夢をたねに書き込みました。また、10月16日には小学校で開催された中小フェスの中で、小学4年生から6年生もたねづくりを行いました。子ども達が記入したゆめのたねは、成人式の時に大人になった今の自分の夢と比較して、夢の更新を行いプレゼントする予定です。



※ 中頓別町役場で行ったワークショップの様子



※ 中頓別小学校で行った中小フェスの様子

令和4年度以降の活動

町民ホールの木質化をきっかけとし、中頓別町がこれからどのように森と生きていくのか目標を定める一年とする予定です。みんなで中頓別町の森林や林業について学び、庁舎町民ホールに設置する最適な木製家具について検討しながら、将来に向かっての展望を考えていきます。

※ （右）町民ホールに設置されているモニュメント

■令和4年度活動内容

- ①中頓別の森を知るワークショップ
- ②庁舎町民ホール木質化のプランニング
- ③森と生きていく中頓別町のロードマップづくり

お問い合わせ 産業課（01634-8-7662）





**野外焼却は、
犯罪行為です！**

**野外焼却による廃棄物の焼却は
廃棄物の処理及び清掃に関する
法律によって禁止されています**

一部例外とされている行為

- 1 農業、林業または漁業を営むため、やむを得ないものとして行われるもの
例：あぜ草や下枝の焼却、畑の害虫防止 ※廃ビニールの焼却は禁止
- 2 風俗習慣上、又は宗教上の行事を行うもの（例：どんど焼き、しめ縄の焼却）
- 3 災害の予防、応急対策又は復旧のために必要なもの（例：火災予防訓練）
- 4 国等公共団体が、その施設の管理を行うために必要なもの（例：河川敷の草の焼却）など
※野外焼却の連絡があった場合、現地を確認し、著しく違反している場合には行政指導の対象となりますので、すぐに消火してください。

野外焼却(野焼き)に関するよくある質問

- Q** ○○で野焼きを行っている。今すぐにでも止めさせて欲しい。
- A** 野焼きの通報があった場合は、すぐに現地確認を行い、違法かどうかの判断をします。違法であった場合は、罰則を受けることになります。
- Q** 野焼きを行っていた。(過去の話)
- A** 不確実な情報に基づいては指導ができないため、行っている最中に通報をお願いします。
- Q** 何年も前からごみを燃やしているが何も言われたことがない。
- A** ご近所付き合いも考え、通報されないケースが多くあります。ごみを燃やし続けた場合、一般廃棄物の不適正処理で罰則もあるため、今すぐにでも止めてください。
- Q** ドラム缶でせん定した枝木や刈り草を燃やしている。
- A** ドラム缶を焼却炉として使用し、枝木や刈り草を焼却することは禁止されています。事業所で出た廃棄物に関しては、事業系廃棄物で処理してください。届出のあった焼却炉以外での焼却は、認められていません。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）一部抜粋 (焼却禁止)

第十六条の二 何人も、次に掲げる方法による場合を除き、廃棄物を焼却してはならない。

- 一 一般廃棄物処理基準、特別管理一般廃棄物処理基準、産業廃棄物処理基準又は特別管理産業廃棄物処理基準に従って行う廃棄物の焼却
- 二 他の法令又はこれに基づく処分により行う廃棄物の焼却
- 三 公益上若しくは社会の慣習上やむを得ない廃棄物の焼却又は周辺地域の生活環境に与える影響が軽微である廃棄物の焼却として政令で定めるもの

第二十五条 次の各号のいずれかに該当する者は、五年以下の懲役もしくは千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

十五 第十六条の二の規定に違反して、廃棄物を焼却した者

お問い合わせ 住民グループ環境衛生担当 (01634-8-7660)

51



新しい助産師の紹介

新しく着任した助産師を紹介します。

皆さんこんにちは。4月から新しく子育て世代包括支援センター（なかとんネウボラ）に入りました助産師の齋藤知秀（さいとうちかき）58歳です。札幌市で保健センターの母子訪問、産婦人科病棟勤務、高齢者施設勤務、健診センターで勤務していました。

家族は夫と二人暮らしです。3人の子どもがおり、29歳の長男家族には2歳半の孫がいます。28歳の長女家族にも生後4か月の孫がいます。3番目の次男は、東京在住です。



子ども3人を年子で出産し、嵐のように子育てをして、あっという間におばあちゃんとなってしまうました。年子で、子どもを育てたので、ゆっくり抱っこをして、丁寧な子育てを出来たかどうかは不明です。

3人の子育ては、転勤先で誰も知り合いがない中での子育てでした。長男が退院した間もないころ、夜中の2時ごろに世界中で、この時間に起きて授乳に悪戦苦闘しているのは、自分一人ではないかと思ひ、涙が出てきたのを覚えています。自分と同じよう、

夜中に一人だけいると感じるママが減るようにしたいと日々感じながら仕事をしています。

パパも昔のように仕事ばかりしてはられず、育児をママと共にしていく時代となりました。仕事も一生懸命したいし、子育ても頑張りたい。泣く子どもを抱っこしたら「ママ」と泣かれてしまつて、何をしたら良いのかわからないなど、パパのご相談にも乗りたいと思います。

祖母として、祖父として、手伝ってあげたいのにどうしたら良いのか、手を出さずに見守ったほうが良いのか、それとも：

育児をして行くご家族に寄り添いながら、その家族なりのより良い方法を一緒に考えて行く伴走者になりたいと思っています。ママ、パパ、おばあちゃん、おじいちゃん、おぜひ、ネウボラの部屋に気軽に

も開放しています。～すぐに、答えが出ないかもしれませんが、一緒に悩んで、一緒に考えて行きましょう。

相談事が特に無くても大丈夫です。誰かに会いたくなつたら、私の顔を見に来てください。何も話さなくても大丈夫です。一緒にお茶を飲む時間を過ごしましょう。中頓別町に馴染み、町民のみなさんのお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

**なかとんネウボラ
ホットライン**

TEL 090-3117-1945

※LINEもやっていますので、
ぜひご利用ください！

図書室だより

注目の新着本

一般書

『同志少女よ、敵を撃て』

著：逢坂 冬馬（早川書房）



独ソ戦、女性だけの狙撃小隊がたどる生と死。
驚愕のデビュー作。第11回アガサ・クリスティー賞大賞受賞、2022年本屋大賞受賞！

児童書

『これから大人になる君たちへ』

監修：池上 彰



18歳で成人。どうすればいい？
大人になるまでに知っておきたい
「世の中の大切なこと」満載の1冊。

新着図書（4月20日現在）

一般向け図書

- ◆『人面島』 中山 七里/著
隠れキリシタンの島で密室殺人の謎に挑む！
- ◆『砂嵐に星屑』 一穂 ミチ/著
テレビ局で働く真面目で不器用な人たちの物語
- ◆『落花流水』 鈴木 るりか/著
現役受験生作家が紡ぐ、リアル受験生の青春小説
- ◆『誰かがこの町で』 佐野 広実/著
高級住宅街の恐ろしい秘密。驚愕の真実は…？
- ◆『天国からの宅配便』 柊 サナカ/著
伝えられなかった想いが届くとき、新たな一歩が始まる

児童向け図書

- ◆『ぱなしくん』 柴田 ケイコ/作
片付けないと、おばけが来るぞ～！
- ◆『神社のえほん』 羽尻 利門/作
家族で楽しく学べる和の文化入門えほん
- ◆『はやくしなさい』 中川 ひろたか/文
ママが思わず言ってしまう言葉だけど…
- ◆『ママがブタになった日』 南田 幹太/作
食べたあと、ごろんと横になったママがブタになっちゃった！
- ◆『大ピンチずかん』 鈴木 のりたけ/作
これを読めば、いつ大ピンチが来ても大丈夫！

※その他、多数の本が入荷しています。最新情報は、図書室に一覧表を掲示していますので、ぜひご覧ください。
また、所蔵してほしい本のリクエストや情報もお待ちしています。

利用案内

開館時間…午前10時～午後5時
休館日…毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始
貸出期間…2週間（但し、雑誌は1週間）
冊数制限はありませんが、節度を守りご利用ください。
※土日・祝日も開館しています。

お願い

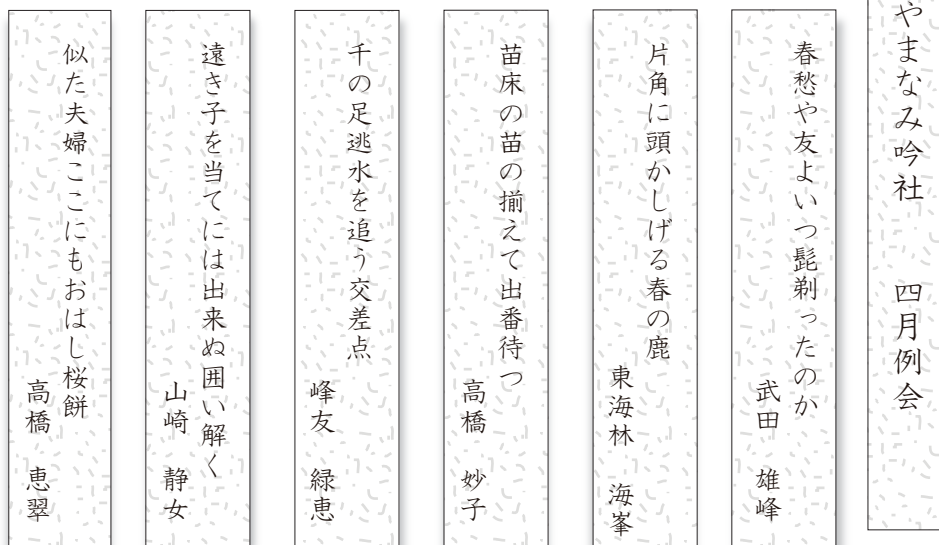
図書室から借りたままの本は、ごさいませんか？
玄関横に返却ポストを設置していますので、早めの返却をお願い致します。

貸出予約・
リクエスト等、
お気軽にお申し付け
ください。

TEL/FAX：01634-6-1170

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —



中頓別町特定地域づくり事業協同組合入組式の開催



4月1日に中頓別町役場で、中頓別町特定地域づくり事業協同組合の入組式が開催されました。特定地域づくり協同組合には、2人が入組し、辞令書を櫻田理事長より手渡されました。

特定地域づくり事業協同組合とは、地域の仕事を組み合わせ、労働者を町内の事業者へ派遣することで、繁忙期などの一時的な人手不足を補う事業です。

編集後記

- 春から広報の担当になりました、えーくらです。さこんさんと一緒に毎月読むのが楽しみになるような広報を作れるように頑張ります。取材等でお会いした時にたくさんお話できたらうれしいです。これからどうぞよろしくお願いいたします！（えーくら）
- 4月に入園式や入学式などが行われ、ゴールデンウィークを過ぎると5月病となる方も多いみたいです。5月病から抜け出すためには、早寝、早起きや食生活に気を付けると良いみたいです。特に、カルシウムやビタミンCを摂ると良いみたいです。（さこん）

広報なかとんべつ 5月号 Vol.749

【発行】 2022年5月10日

【編集】 中頓別町総務課政策経営室 TEL 01634-8-7671 FAX 01634-6-1155

〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別 172-6

HP <https://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail koho@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

戸籍だより

4月1日～4月20日受付分

（公開にご了承いただいた方
のみ掲載しています）

婚姻・出生・おくやみに係
る人口の異動はありません
でした。

人のうごき

（令和4年4月20日現在）

世帯 869(+3)

人口 1,599(0)

男 796(-1)

女 803(+1)

（ ）内は前月対比

※ 4月20日以降の「人のうごき」については、5月分とあわせて6月号に掲載させていただきます。